

市政を問う 一般質問(要旨)



清瀬 自民
ク ラ ブ
森田 正英

地方債発行完全自由化 について

完全自由化は理想型と言われているが、債務不履行に備えるクレジット・デリバティブ市場など自治体間の信用格差がつく例もあり、長い目では地方財政制度にも市場原理が浸透することを裏付けている見方が増すが、見解を伺う。

補習授業への取り組み について

文科省は、経済的理由などで塾に通えない児童のため07年度から公立学校で放課後や土・日曜日に無料で補習を行う事業を始める方針を固めた。格差社会が叫ばれる中、教育の機会均等が課題になると予測されるが対応を伺う。



清瀬 自民
ク ラ ブ
粕谷 いさむ

地方公共団体に於ける 行政施策の推進と国勢調査

生活時間帯の変化やプライバシー意識の高まりなどが、従来の方法による調査を難しくしているなどとも言われ、

コミュニティ円卓会議の 発展性について

地域の学校を拠点とした活動が活発に行われることにより、学区を単位とした新しい地域コミュニティの形成に期待する。そのためには円卓会議の発展性を進めていくことが必要と考えるが、今後の方向性を伺う。

動物の飼育に学ぶ生きる力、 命の尊さを学ぶ教育

以前、18歳になる3人の少年が小学校のウサギをボールに見立て蹴り殺す事件があったが、当時飼育係だったもう

粗大ごみ・産業廃棄物等の 不法投棄について

悪質な不法投棄が後を絶たないが、柳瀬川回廊に出る下宿第二運動公園付近も度々投棄される場所と聞いている。他にもそのような場所はあると思うが、照明を設置するなど、今までは違った対策を考えてはどうか。所見を伺う。



清瀬 自民
ク ラ ブ
渋谷のぶゆき

公共施設の耐震対策 について

先の新聞報道によりまずと、小中学校の校舎の耐震化が他市と比較して遅れているとのことですので、特に、小中学校校舎の耐震化が緊急的な課題であると思っております。耐震化の計画についての考え方を伺うかさせていただきます。

都市農政推進協議会の 活動について

「こどもSOS」ステッカーを配布し、子どもの安全を守る運動を都市農政推進協議会が行っています。

子どもの安全対策 について

子どもの登下校時や、普段の生活は地域の目で見守らなければなりません。地域との協力体制の状況と、学校内の安全マニュアル、そして緊急時を想定した教職員の訓練と児童の避難訓練などの状況について伺います。



清瀬 自民
ク ラ ブ
田中 長夫

市内農業者の野菜直売及び 会員制販売について

農協前にて、火曜日、土曜日に地元農家約10軒が新鮮な野菜を販売しています。大変好評です。4月のNHK「たべもの新世紀」で優秀な農家として中清戸の並木氏が紹介されました。会員制希望申し込みを上げてはどうか。

市民生活部長 都市農政推進協議会は、都市農政の確立を図るため、昨年の7月に会員354人で発足しています。農業作業時において児童・生徒が被害に遭いそうになったときに助ける等、子供セーフティ運動等を実施しています。

レオパレス21の実情と 建主地主の保護

市内でも1987年頃から昨年まで17件の賃貸アパートレオパレス21が建設契約をしている。敷金礼金仲介手数料不要と募集した。新聞で社長が約48億円不正運用し、6月辞任した。善良な市民の建主地主さんを守るべきと思うが、

市の人材について、課長の 空席と昇格試験状況

現在、体育課他5課長が空席にて、今後の人事をどの様にお考えか。また、上司に対し自分の意見を申し、部下を指導する部課長であってほしい。今回の昇格試験の状況と結果をおたずねいたします。



清瀬 自民
ク ラ ブ
友野ひろ子

フラワーコンテストと オープンガーデンについて

今年「街かどガーデン」部門が新たに加わり、花を愛する市民の皆様が喜んで参加されました。長野県小布施町の「オープンガーデン」の年間100万人の見物客の経済効果を考えてと本市にも、それを試みてはどうか。

道徳教育の再構築

教育の現状は大きな転換点にある。戦後教育のすばらしさを認めながら、そのマイナスイメージが目に付き始めた。命の大切さ、人に対する思いやりなど社会を形成する原点である道徳を教育の中に再構築することを求める。



清瀬 自民
ク ラ ブ
石井 秋政

清瀬駅南口の再開発問題

都の第3次事業化計画の中で、平成18年から10年間に優先的に整備すべき道路として新たに東3・4・23号線が選定された。これは南口駅前広場約5千㎡と110mの道路整備である。今後の整備計画の予定を聞く。



食育の推進について

「食」とは、「人に良い・人を良くする」と書く。去る6月清小、清中、保護者180人の参加で「鯨」の講演と試食会

建設部長 東3・4・23号線が新たに選定されたことから、整備の重要性は十分認識しています。駅前広場とあわせてこの事業は相当な事業費がかかると思われますので、整備手法や財源について研究していきたいと考えています。

高齢化の進行により公共トイレ増加要望が高まる

高齢化による体調の変化は、社会への参加の意欲を制限する。北口駅前や、けやき通りなどの散策路にトイレの設置を求める。課題となる維持管理経費を補うため、利用者から一定の負担を求める有料トイレの構想も考えられる。



清瀬 自民
ク ラ ブ
渋谷金太郎

建設部長 今後、柳瀬川回廊の案内板やコースマップを作成しますので、トイレや距離表示等その中に記載して利用者の利便を図っていきたくと考えています。有料トイレの設置は、時期がまだ早いのではないかと考えています。

療育センターの早期開設を求め、進捗状況を問う

集団で生活することを嫌がり、「イヤダー」と奇声を発していた広汎性発達障害の子が幼稚園に在園しながら、療育病院での療育を受けた成果で支障なく小学校生活を送っている。早期の適切な療育は重要である。開設準備を問う。

健康福祉部長 市全体案の調整を18年度中に行い、19年度は、公募市民を含む検討委員会の立ち上げ、基本設計の実

施、20年度は実施設計の実施、21年度は施設建築へと移っていくスケジュールを考えております。

「土」が作物作りの原点 環境保全型農業の推進

臭いが少なく良質に発酵される、さらに残留農薬を分解する力のあるEM牛糞は既に20軒以上の農家に供給されている。現在はトラクターで畑に撒かれているが、マニアスプレッターという堆肥専用機械は便利だ。導入助成を問う。

市民生活部長 堆肥を撒くマニアスプレッターの整備については、作業効率が相当上がるため、市内農家の整備状況と都の魅力ある都市農業育成対策事業の補助対象に該当するか、調査、検討させていただきます。

集中豪雨による洪水を想定した水防避難訓練計画

「水が来たと思ったら、あつという間に水位が上がっていった」とは新潟豪雨の時の三条市の知人の言葉です。昨年12月議会で「今後さらに実践に即した訓練の実施を検討する」との答弁だったが、その後の検討内容について問う。

総務部長 地域防災計画の中に水防対策を盛り込み、この中で災害対策本部の設置、避難勧告、避難場所への誘導訓練など、関係機関等と連携しながら、実践に即した訓練を実施するよう検討していきたいと考えています。



清瀬 自民
ク ラ ブ
中村 清治

清瀬市の魅力ある都市農業育成事業について

市内野菜生産者は、減農薬有機肥料により安心確保を促進し積極的に施設栽培を進め、新たに葉付きサラダ大根、セリリー、イチゴ等の特産ブランド化をめざしている。地域産業振興に向け洗浄機械やハウス設備等の充実施策を問う。

市民生活部長 現在、農家の方々の需要を調査中ですが、農業軽減型パイプハウス等、施設の一層の整備促進を図るため都と協議中であり、補助金獲得には全力で取り組みたいと考えています。

清瀬市消防団員への出動通報システムについて

地域に災害が発生した時、市内7分団143人の消防団員は、昼夜問わず出動し、活躍している。出動要請は各消防分団長から団員個々への連絡を携帯電話で連絡しているが時間を要す。消防署より個々にメール配信への改善を問う。

総務部長 分団長から分団員への連絡につきましては、各分団のサイレンを鳴らすこととしていますが、携帯電話についてはほとんどの方が利用されている現状がありますので消防署とも協議し、今後研究させていただきます。

けやき通りの日照、交通障害等管理責任について

四季それぞれに潤いと安らぎをもたらすけやきは木となり根は浅く歩道は波うち、畑等へ30mも延び、枝は隣地にかぶさり太陽を遮り、枯枝や倒木もあり危険です。近隣住民にも安らぎがほしい、ガマンも限界です。対応を問う。

建設部長 けやきらしい樹形を大切にしながら、あの景観を維持していくことが今一番大切なことと考えていますので、関係者の皆様には個々にお話を伺い、協議させていただきたいと考えています。



日本共産党
山 真

格差社会是正のため福祉、子育て支援の充実を

財務省の研究所でも、高齢者や若年層で所得格差が拡大していると報告しています。格差を是正するため、乳幼児医療費助成の充実など子育て支援や、高齢者、障害者、低所得者の支援を行うことが自治体に求められています。

市長 生活弱者といわれる人々にも配慮をしなければならぬことは当然です。18年度予算の中でも一定の考え方を示させているところで、所得の低い市民の暮らしを支えることは、自治体の当然の責務だと考えています。

学校校舎の耐震診断、耐震改修の実施を

文科省が区市町村別に発表した学校施設の耐震化率で、清瀬は都内で下から2番目という深刻な結果です。

財政を理由に耐震改修を先送りしてきた考えを改めて、できるだけ早く耐震改修を行うことを求めます。

市長 いままでは財源を投入する余裕がなかったために遅れておりますが、17年度の繰越金などが増えてきておりますので、今後重点的に耐震診断と改修を計画的に進めたいと考えています。

健康づくりのため 水中ウォークの普及を

健康推進のため、スポーツが必要で、水中ウォークは浮力が働くため、腰痛などの改善にもなります。気軽にできるように、柳瀬園プールまでの送迎バスを求めます。また、トレーニング場の利用料は65歳以上を減額すべきです。

生涯学習部長 柳瀬園への送迎バスの運行につきましては、非常に難しいものと思っております。健康センターのトレーニング場の利用料の減額につきましては、現在のところ考えていませんので、ご理解いただきたいと思っております。



日本共産党
原田ひろみ

生きる希望を奪う障がい者への負担増の軽減を

障害者自立支援法によりサービスを利用する障がい者に1万52万円以上の負担が生じています。「こんなに払えない」と施設通所を減らす実態もあり、また施設運営も危機的です。負担を軽減することや施設への補助を求めます。

健康福祉部長 軽減策や施設への助成策につきましては、現状では大変難しいと考えています。これは全国的に

出されてきていますので、今後の施行状況の中で、改善すべき課題は国や都へ要望していきたいと思っています。

職業相談の常設化と「ポケット労働法」の普及を

高校や大学を卒業しても不安定雇用で就かざるを得ない実態の中、ハローワークの役割は重要です。職業相談会を充実し、常設の相談窓口とすることを求めます。都の「ポケット労働法」を市で増刷し、若者への普及を求めます。

市民生活部長 本市を管轄する三鷹ハローワークに常設の就職相談窓口の設置を引き続き要望していきたいと考えています。ポケット労働法の市報への掲載については担当課と協議していきたいと考えています。

出張児童館の充実と竹丘地域への児童館の設置を

竹丘での月に一度の出張児童館「ころぼっくる」が好評です。さらなる充実を求めます。同時にこどもたちの安全な遊び場をいつでも提供する児童館設置が欠かせません。6館構想に基づき児童館設置を計画することを求めます。

健康・子育て担当部長 現下の財政状況から6館構想を具体的に計画することは困難です。今後も子育て支援は地域にある社会資源を活かす中で、PR等も工夫をしながら拡充し、充実させていきたいと考えています。



日本共産党
小野 幸子

地球温暖化防止に 市民と一体の取り組みを

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減のために、国・企業・住民も一体となつての取り組みが求められます。今回、市は環境基本計画を策定しますが、審議会への市民公募、策定の過程でのパブリックコメントを求めます。

市民生活部長 審議会は市民公募3人を含む12人で構成され専門的な立場で提言をいただく中、計画の策定に取り組みたく、また、市民の意見も聴く場では、パブリックコメント等もあり、今後審議会に諮っていきたくと考えています。

容り法対応の「その他プラ」の収集袋は無料に

今国会で成立した「容り法改正案」は「拡大生産者責任」を徹底せず、自治体の費用負担が拡大されるなど、問題が改善されていません。市は10月1日から「その他プラ」の収集を始めますが、収集袋は無料にするべきです。

市民生活部長 収集袋は、現在有料化を求めています。容り法は、ご指摘のように相応な費用がかかってまいります。こういう中で、これにつきましても通常の袋と同じ考え方で、価格も同じにと考えています。

子育て支援として、誕生を祝福するメッセージを

子育て支援として大事なことは保育園の充実や生活支援です。これまでも乳幼児医療費無料化の拡充や家賃補助を求めてきました。同時に子育て支援として、命の誕生を市も祝福するメッセージを出生届時に手渡すことを求めます。

健康・子育て担当部長 お祝いメッセージのプレゼントはちよつとした心遣いが今後の子育ての励みになっていただけたらいいことであれば、ともうれしく思います。どんなものができるのか検討してみたいと思っております。



日本共産党
金丸 一孝

450人の職員で市民サービスは確保できるか

職員数は、180人の嘱託を合わせ6年前と変化がない。識者は市の仕事は専門性や総合性で、安定、継続した労働条件が必要と語っている。市は、「集中プラン」で職員を450人にするとしているが、市民サービスは確保できるか。

市長 平成9年職員数は709人、現在は504人、約200人減りました。その分嘱託職員にお願いしておりますが人件費は、約10億減りました。いま最大の課題は市政の効率的運営だと考えますのでご理解ください。

マンション建設で住民不安を解消する指導を

元町二丁目昭利リース跡地にマンション建設が計画され、住民の中には騒音や振動、日照などに対する不安が広がっている。市は、業者に



工事協定も含め、十分に住民への説明責任を果たすよう指導するべきだ。

建設部長 高さ10mを超える建築物の建築は、周辺の居住者への説明会等により周知を図り、市長へ報告書を提出することに なって ます。

清瀬市独自でも1・2年生の少人数数級化を

教育長は、低学年の少人数数級化と高学年などへの少人数授業の実施を言ってきたが、少人数数級の教育効果ははっきりしており、都への働きかけを強め、当面学級経営支援事業を充実し、1・2年生に市独自で実施するべきだ。

教育長 学校や学級の状況に応じて、少人数指導や少人数学級を弾力的に行うことが必要だと考えています。都に対しても要望しています。学級支援事業については、学級経営補助員の確保などを行う中で充実していきます。



日本共産党 佐々木あつき

高齢者の生活実態と経済的支援について

小泉政治の税制改悪や医療・介護・年金の改悪で高齢者の格差の広がりは深刻です。高齢者の生活実態は、住民税非課税者が7割を超えます。生活保護基準に満たない市民への日常的な経済的支援が必要で、見解を求めます。

市長 高齢者問題等でありま

すが、現在医療改革だとか介護制度の改正だとか税制度の見直しが行われて負担感が大きいのでありますが、それを現金給付型施策で、自治体が補うのは難しいと考えます。国の制度の問題です。

国の責任を明確にし、よりよい介護保険制度を

新制度は、生活援助ヘルパーの派遣時間の加算廃止やケアマネの持件数の制限などで、軽度要介護高齢者の必要なサービス提供を担う地域包括センターの役割を伺います。

健康福祉部長 ケアマネジャーの急激な持件数制限については担当課長会より、国へ要望書を提出しています。地域包括支援センターが、地域の中でしっかりと皆様の介護の面で対応できるように、検討してまいりたいと思います。

「生活習慣病は除く」を撤回し、健診の充実を

市民健診の受診抑制は、自治体として行うべきではありません。30歳以上の市民健診は、生活習慣病を治療の方を対象外にしているが根拠はない。若年層の疾病予防に早期発見、早期治療が必要です。見解を伺います。

健康福祉部参事 市民健診については、現段階では、今年度同様に実施していこうと考えています。本年度から前立腺がん検診を加え、30歳から64歳までの方については、骨密度検査を実施し、内容の充実を図りました。



日本共産党 宇野かつまる

就学援助費や修学旅行費補助など拡充させるべきだ

市は、国と同じように就学援助費の認定基準を連続してきびしくしたり、修学旅行費と移動教室への補助を引き下げたが、これを改め、「義務教育費は無償」の教育基本法の立場から、むしろ充実させるよう求める。

教育長 今後とも、保護者負担に対して、応分の負担や他市等の状況を考慮し、財政の状況を見極めながら、教育行政の充実を図っていきたくて考えています。ご理解のほどよろしくお願ひします。

旭が丘通りと柳瀬川通りの交通安全策を求める

新小金井街道は3年後に完成する。このため旭が丘通りから交番を經由し柳瀬川通りから川越街道にかけ車両の増大が予想されるので、事故防止のため、道路のランプ(こぶ)設置や部分的に狭くしたり、ジグザグ化などを求める。

総務部長 道を部分的に狭くしたり、さまざまな形のランプを設置している事例は、大変有効な方法だと思つています。警察署や地元の皆様の意見を聞きながら個別の場所、事例ごとに実施していくべきであると思つています。

旭が丘通り付近の抜本的な浸水対策を求める

中里五丁目、旭が丘一丁目、下宿二丁目など集中豪雨時の

浸水被害が年々増加している。抜本的には公共下水道雨水計画を早急に実施し、特に旭が丘通り付近の交番から柳瀬川までの排水管の口径を太くすることを求め、見解を問う。

市長 時間雨量が50mmを超えると道路冠水するところが出てきています。今後雨水計画を進め計画的に整備をする必要がありますが、旭が丘交番前から柳瀬川までの間については緊急的に工事が出来るか検討をいたします。



公明党 長谷川正美

清瀬の街の照明のあり方について

庭のとても明るい家があるので見せて頂いたら特別の事はしてないようだが照明の高さや光の照らす相手との距離に工夫があるようです。エネルギー消費を過大にしないで街を明るくすることは出来ないか伺います。

建設部長 現在、市内にあるほとんどの照明は、車道を中心に照らしていますが、今後広い幅員のある歩道の場合には、照度計算をしまして、必要ならば車道と歩道にそれぞれ照明を設置したいと考えています。

建設公害について伺います

マンション等の建て替えが多くなりますが振動や化学物質や建材に含まれるアスベスト等の飛散を防止していかなければなりません。今までの市民の皆様側に立つてどの

様なことが行われて来たのか何が可能なか伺います。

不足する特別養護老人ホーム等について

都の東高跡地利用について考えますと特養を初め高齢者施設の誘致を図ってはどうかと思つています。市で大きな財政負担をするのではなく市民に望まれて施設を民間でやって頂けるように誘致、誘導してはと思つています。

助役 運動場とテニスコートを無償で借りることで交渉中と3月議会で答弁をさせていたいただいたと思つています。その延長上でのことを進めていきます。特別養護老人ホームの民間誘致は実現不可能であるというところでご理解ください。



公明党 浅野 和雄

地域活性化と医療博物館の創設について

清瀬の歴史と文化を掘り起こし、活かした医療博物館の創設は、農業以外の産業が少なくないと言われている本市にとって、地域活性化の大きなインパクトになると思つています。市独自の設置が難しいければ、都立の形で具体化出来ないか。

市長 清瀬市には結核療養所が多くあったという歴史的な経過を伝えていくことですが、市立で医療博物館を設立して運営していくことは現時点では難しいと思つています。東京都に対して要請は行いたいと思つています。

療育システムの整備拡充と竹丘学園の役割

総合療育センターの設置計画の検討が続けられているが発達障害の早期発見早期療育の重要性からも、貴重なこの期間に、竹丘学園に職員を補充し、療育技術等専門知識をもつ保育士の養成や、人材育成が必要と思つています。所見を。

健康福祉部長 竹丘学園の職員補充や整備は、現時点では拡充する方向でなく、施設の新築整備と併せました新たな療育システム整備の中で対応させていただきます。ご理解ください。

幼保一元化の実施を

これまで、保育園での幼児教育の必要性から幼保一元化

を提案してきた。親の就労に關係なく、幼児教育と保育を一つの施設で提供出来る、幼保一元化法が国会会で成立し、10月1日から施行される。制度導入を要望する。所見を。

健康・子育て担当部長 保育所が保育に欠けない子供も受け入れていくものであり、その結果、地域の保育に支障が生じる可能性が考えられま



公明党 西畑 春政

早寝早起き朝ごはんの普及啓発について

文科省には「早寝早起き朝ごはんプロジェクトチーム」が発足しました。朝食の効用は、03年度の国の調査でも明らかで、朝ごはんを食べる子どもが食べない子どもよりも、学力だけでなく体力も優れている。本市の取り組みを伺う。

教育長 早寝早起き朝ごはん、それにプラスをして、テレビを見る時間を減らして、もう少し読書の時間を増やしたい。基本的な生活習慣の確立という点からも、取り組みを家庭と協力して進めていきたいと思つています。

肝炎ウイルス検診について

C型肝炎検診で病気が見つかったても十分な治療につながらない実態が判明しました。C型肝炎は完治できる新しい治療法を広く患者に知ら

せるなど、根治療法の連携について市の見解を伺います。

少子化対策について

厚労省は6月1日に05年の合計特殊出生率が1・25と発表しました。出生率上昇の力ギは、雇用創設と定住施策で若い既婚者層の定着、また、職住近接や女性のパートが多い地域の働き方に合ったサービスの充実です。見解を伺う。

健康・子育て担当部長 少子化対策は、総合的に様々な施策を展開することが重要です。次世代育成支援活動計画をしっかりと推進していきたいと思つています。



公明党 久世 清美

学校での文化・芸術家の任期付職員採用について

あらゆる分野の文化芸術教育に対し、学校教育の現場でボランティアに頼るだけでなく、専門の資格を持った文化芸術家の方に教育現場で指導に当たっていただくため、任期つき職員採用の予算活用が認められた。市の対応を伺う。

教育長 任期付短時間勤務職員制度は、総務省の事業です。学校の要望と合わせてどういう手続が必要なのか、どうい

う形で活用できるのか検討していききたいと思います。

女性職員の登用について

庁内に女性職員の新しい顔が見られうれしい限りだが防災安全課には女性職員の姿が見られない。いざという時の細かい配慮のためには常日頃から現場に接する女性職員がぜひとも必要と思われる。ご所見を伺う。

総務部長 人事ローテーションの中で配置をした結果、防災安全課に現在女性職員がいません。女性の視点が必要な時は、課以外の職員でも対応できると考えています。

自転車による事故防止対策について

清瀬駅北口交番からアミュービルの間は多くの人が行きかう所だが自転車スピードを上げて通り過ぎる事があり高齢者の方からならんかの安全対策を望むとの要望がある。安全指導員を配置するとか何らかの対策が必要と思うが

住民基本台帳カードの交付状況と活用について

住基カードは発行以来3年近くになるが、交付状況と活用について伺いたい。総務省は、電子マネー、公共施設予約カード、図書サービス、救急活動支援サービスとの連動など、12の事例を紹介しているが、取り組みを聞きたい。

健康・介護予防と公園のあり方について

シニア向けリフレッシュ遊具や健康遊具などを公園に設置し、介護予防という視点からの公園再生が全国的に静かなブームになっている。西神田公園は介護予防公園の第1号と云われているが、本市の取り組みについて伺いたい。

建設部長 介護予防の観点という先進事例の公園活用につきましては、新たな視点とらえなければならぬ課題として、今後先進事例等を収集検討したいと考えていますので、ご理解ください。

総務部長 5月末現在で住基カードが86枚、普及率は非常に低い状況です。I-T関連は日進月歩の状況ですので、新システムの導入時や、旧システムの更新時には、住基カードの連携について十分検討していきたいと考えています。

水再生センター周辺の整備とバス対策について

サッカー場などのスポーツ施設の拡充や水辺環境の整備



公明党 金子 征夫

によって、多くの市民が活用する地域になります。駐車場の確保、各種施設の案内標識の設置並びに隣接するバス路線の確保が急務と思うが対応を伺いたい。

健康・介護予防と公園のあり方について

総務部長 既に要請をしていますが西武バスでは周辺地域の開発等により、利用者増が見込めることがあれば検討したいとのことです。サッカー場ができたことなど、周辺状況が変わってきていますので、引き続き要望してまいります。



生活者ネット・民主党 齊藤 実

清瀬市内における都市計画道路について

街づくりにおいて道路整備は不可欠であり、その整備内容により周辺の様子は大きく変化してまいります。都の第3次事業計画策定に伴い、市内の計画は着手分も含めて、どのように進んでいるのかを伺います。

建設部長 計画は清瀬駅南口広場からの東3・4・23号線、たから幼稚園前から志木街道までの東3・4・17号線、野塩五丁目の東村山境から志木街道までの東3・4・13号線です。東3・4・7号線は21年の開通予定と聞いています。

秋津駅周辺整備について

駅前前の整備は遅々として変化がありませんが、いなげや前の歩道整備は関係地権者のご協力で工事が終了しました。しかし、段差解消など安全に対して不安の声を聞きます

駅前前の整備は遅々として変化がありませんが、いなげや前の歩道整備は関係地権者のご協力で工事が終了しました。しかし、段差解消など安全に対して不安の声を聞きます

水再生センター周辺の整備とバス対策について

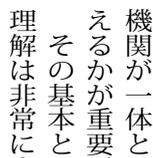
サッカー場などのスポーツ施設の拡充や水辺環境の整備

が、どのように検討されたのかを伺います

建設部長 バリアフリーの観点から、車椅子利用者及び歩行者優先で歩道の連続性を確保しました。切り下げ部は段差が生じていますが、歩道の連続平坦性の確保の点からのご理解ください。横断歩道のある部分を利用願います。

清瀬市防災計画について

地震など大規模災害が発生した場合、いかに市民と関係機関が一体となって立ち向かえるかが重要だと思います。その基本となる防災計画の理解は非常に大切だと思います。総務部長 地域防災計画は都との協議を行うための準備をしているところです。協議終了後、製本として取りまとめの予定です。市民に対して周知する必要があります。ホームページや市報などで周知していきたいと考えています。



生活者ネット・民主党 原 まさ子

今こそ「子どもの権利条例」が必要

子どもたちが被害にあう犯罪や事故が絶えない現状は大人社会の歪みです。子どもを社会の構成員とし、その権利を認めることが必要です。清瀬の子どもの暮らしに一番身近な市が、今こそ子どもの権利条例を策定すべきです。市長 子どもたちが健やかに育つことができる環境を目指し

子どもたちが被害にあう犯罪や事故が絶えない現状は大人社会の歪みです。子どもを社会の構成員とし、その権利を認めることが必要です。清瀬の子どもの暮らしに一番身近な市が、今こそ子どもの権利条例を策定すべきです。市長 子どもたちが健やかに育つことができる環境を目指し



生活者ネット・民主党 原 まさ子

子どもたちが被害にあう犯罪や事故が絶えない現状は大人社会の歪みです。子どもを社会の構成員とし、その権利を認めることが必要です。清瀬の子どもの暮らしに一番身近な市が、今こそ子どもの権利条例を策定すべきです。市長 子どもたちが健やかに育つことができる環境を目指し

水再生センター周辺の整備とバス対策について

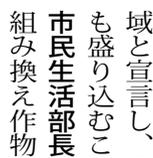
サッカー場などのスポーツ施設の拡充や水辺環境の整備

て取り組んでいるところですが、ころぼつくる児童センターの委員会で、憲章をつくるための準備が行われていますので、状況を見ながら、検討をしていきたいと考えています。

農産物ブランド化はGMOフリーゾーン宣言で

紙の分別と処理困難紙の対応について

洗剤やお線香の箱は、匂いが紙に染み付き、再生時に問題がある。また、ビール6缶の包装紙であるマルチパックも水に強い特性が溶解の釜の中で溶けないために、古紙業者泣かせだ。現実的に事情を考慮し対応すべきだ。

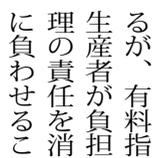


清瀬市民会議 長野美保子

いわゆる「格差社会」と市政

民主主義の故郷英国は、階級が支配する社会と呼ばれる。我が国は現在でも世界で最も格差が少ない。これは、戦後の農地解放に帰するものと思う。故に、この変化があるとするれば、構造的なものとみるべきで、ご所見と影響を伺う。

助役 小さな市役所、優しい市役所を目指して、行財政改革を進めることが必要です。生活弱者と言いますが、そういう人たちのためにどういう光を当てていくのか、手を差し伸べていくのかという事が大事であると思っています。



清瀬21の会 市川としお

子どもたちが被害にあう犯罪や事故が絶えない現状は大人社会の歪みです。子どもを社会の構成員とし、その権利を認めることが必要です。清瀬の子どもの暮らしに一番身近な市が、今こそ子どもの権利条例を策定すべきです。市長 子どもたちが健やかに育つことができる環境を目指し

水再生センター周辺の整備とバス対策について

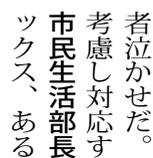
サッカー場などのスポーツ施設の拡充や水辺環境の整備

地域市民センターに、音声案内装置を設置して欲しいとの要望がある。以前からセンターに改善を申し入れているが実現されない。また、エレベーターの設置も車椅子利用者にも必要である。

紙の分別と処理困難紙の対応について

野塩地区に子供の遊び場を

野塩地区は、緑が豊かですが、子供の遊び場がないとの声もあります。子供たちは、遠くの遊び場に行けません。そこで、既設の開発等によって造られている公園の活用についてご所見を伺います。

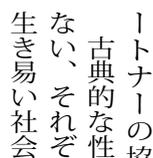


清瀬21の会 市川としお

ジェンダー視点を持った男女平等講座の開催を

女性達が結婚後もキャリアを積み子育てをするには、パートナーの協力が不可欠だ。古典的な性別役割分業ではない、それぞれの性を尊重し、生き易い社会や家庭を築く事が大切。若いカップルを対象に講座を開いていただきたい。

企画部長 若いカップルを対象とした講座は、両親学級と父親学級で、父親の役割など男性も子育てに参画することの大切さ、ジェンダーの視点が盛り込まれています。アイレックでもジェンダーの視点を持った講座を開いています。



野塩地域市民センターの福祉的配慮について

視覚障がい市民から野塩

水再生センター周辺の整備とバス対策について

サッカー場などのスポーツ施設の拡充や水辺環境の整備

がましいものにする事も大事です。ご所見を伺う。

教育長 卒業式、入学式は、厳粛かつ清新な雰囲気の中で行われることを期待し、議会等でも、議員の皆様にご起立をお願いしてきたところです。お祝いしてくださるお客様として、心を汲み取ってほしいと思っています。

国歌斉唱に少なくとも敬意を

小学校の入学式、国歌斉唱に際して起立しない来賓席に向かつて、小さい驚きの空気が一瞬流れました。内心の自由は尊重せられるべきですが、子供たちの新しい門出を晴れ

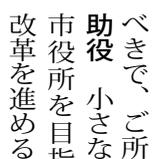


野塩地区に子供の遊び場を

野塩地区に子供の遊び場を

野塩地区は、緑が豊かですが、子供の遊び場がないとの声もあります。子供たちは、遠くの遊び場に行けません。そこで、既設の開発等によって造られている公園の活用についてご所見を伺います。

建設部長 現在野塩地区の子供の遊び場は、7か所あります。開発行為で設置された公園は、離れた地域の方ですと、気がつかないこともあるかもしれませんので、設置場所などのPR手段を考えていきたいと思っています。



野塩地区に子供の遊び場を

野塩地区は、緑が豊かですが、子供の遊び場がないとの声もあります。子供たちは、遠くの遊び場に行けません。そこで、既設の開発等によって造られている公園の活用についてご所見を伺います。

水再生センター周辺の整備とバス対策について

サッカー場などのスポーツ施設の拡充や水辺環境の整備

